

第27回



パティシエール
里森 早希さん
(宮島)

富士青春市民になって、
一緒に富士市を盛り上げよう!!

このコーナーでは「いただきへの、はじまり」を
胸に頑張る“富士青春市民”を紹介します!

いただきへの、はじまり 富士市

"We are/ 青春市民"

富士青春市民を随時募集中です

富士青春市民

検索



お店をオープンしたきっかけは?

子どものころ、私がつくったお菓子を食べた
両親や友人がとても喜んでくれました。お菓子
を通してたくさんの人を笑顔にしたいと思い、
パティシエールを目指しました。関東の学校で
栄養学を学んだ後、市内の洋菓子店で修行しま
したが、結婚を機に仕事をやめました。

娘が生まれ、食品の原材料をより気にするよ
うになった中、娘がアレルギーを持っている
ことがわかりました。娘が安心して食べるこ
とができ、野菜嫌いも克服できるお菓子をつ



くりたいと
思い、お菓
子づくりを
再開しまし
た。多くの
人のご縁も
あり、子育
てイベント
などに出向く中で、さらに背中を押してもらい、
「gateau sec cou cou」をオープンしました。

お菓子づくりのこだわりを教えてください

育児をしながら、お客さんの希望に合わせて
ケーキやクッキーなどをつくり、販売していま
す。私と同じように、アレルギーを持つ子どもに
お菓子を食べさせたい、野菜嫌いを克服させたい、甘さを控えたお菓子を食べさせたいなど、市

子どものアレルギーで悩むお母さんたちを、お菓子で笑顔にしたい!



内外から問い合わせをいただけるようになりました。特に食材にはこだわっていて、地域の農家さんに相談して直接仕入れるなど、地元の旬な有機栽培の食材を使うようにしています。

今後の目標は?

アレルギーを持つ子どもがどれでも好きな
ケーキを自由に選べるように、アレルギー対応
のケーキやお菓子だけを販売する日をつくりたいです。また、子どものアレルギーで悩むお母さんたちの心のよりどころになりたいですね。



地域の人が子どもの世話をしてくれたり、市内に授乳室が多かったりと、子育てしやすいところ

こちら編集室「互いに思いやる気持ちを」

今回の特集の取材には、多くのベトナム出身の人にご協力いただきました。取材の最後に拙いベトナム語で「カム オン (ありがとう)」とお礼を言うと、皆さんはすごく笑顔で「上手!」と褒めてくれました。「外国人のことを知る」と聞くに難しく思えますが、こういうことが理解の第一歩かもしれないと感じました。この特集が、皆さんにとって外国人市民のことを知るきっかけとなり、そして、「外国人だから」と分け隔てることなく、誰もが暮らしやすいまちになることを願っています。(り)

【人口と世帯】10月1日現在

人口: 253,460人 (前月比+8)
男125,518人 女127,942人
世帯: 106,922世帯 (前月比+138)

【編集・発行】

総務部シティプロモーション課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-55-2700 〆0545-51-1456

UD FONT
by MORISAWA

富士市コールセンター
おしえてコールふじ
☎53-1111

受付時間/8:30~18:00
受付日/年末年始除く毎日